

私立大学図書館協会
2004年度第2回東西合同役員会議事要録

日 時 2005年3月4日（金） 午後1時30分～午後4時00分
場 所 アルカディア市ヶ谷
出席者 別紙出席者名簿参照

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介があった。議事の進行は、会長校早稲田大学図書館長・紙屋敦之が担当した。

1. 報告事項（2004年9月～2005年3月）

(1). 会長校会務報告

ア. 協会加盟校について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.3）に基づき報告があった。

イ. 開催会議等について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.3）に基づき報告があった。

ウ. 加盟館への書類等の送付について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.3）に基づき報告があった。

エ. 未加盟館への勧誘について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.4～6）に基づき報告があった。

オ. 協会会報の発行について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.6）に基づき報告があった。

カ. 協会加盟館名簿の発行について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.6）に基づき報告があった。

(2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校法政大学（阿久津）より配付資料（p.7～10）に基づき報告があった

(3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校南山大学（栗山）より配付資料（p.11～18）に基づき報告があった。

(4) 委員会報告

ア. 協会賞審査・研究助成委員会報告

浪岡委員長（実践女子大学）より配付資料（p.19）に基づき報告があった。なお、審査結果については本東西合同役員会の協議事項において提案する旨の説明があった。

イ. 国際図書館協力委員会報告

村山委員長（東海大学）より配付資料（p.20～21）に基づき報告があった。

ウ. 協会ホームページ委員会報告

三井委員長（東海大学）より配付資料（p.22）に基づき報告があった。

エ. 永年勤続表彰制度検討委員会報告

寺本委員長（龍谷大学）より配付資料（p.23）に基づき報告があった。

(5) 協会関連事項報告

ア. 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.24～25）に基づき報告があった。

イ. 日本図書館協会大学図書館部会報告

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.26～27）に基づき報告があった。

(6) その他

ア. 2004 年度行事・会議予定

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.28）に基づき報告があった。

2. 協議事項

(1) 2004 年度一般会計中間決算報告（案）および特別会計中間決算報告（案）について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.30～32）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

一般会計「収入の部」の「その他」では、「総会・研究大会特別会計」（p. 32）で剰余となった 1,078,629 円を繰り入れた。

一般会計「支出の部」の「運営費-2.印刷費」における予算超過は、全加盟館宛発送文書が例年より増加したこと、これにともない印刷経費がかさんだことなどによる。なお、「運営費」については今後年度末にかけて 400,000 円前後の支出を見込んでいることをご了承いただきたい。「国際図書館協力基金特別会計」の「支出の部」「事業活動費-3.海外集合研修補助金」については、1 名辞退者が出たため支出減となった。「事業活動費-4.海外派遣研修」が支出減となっている要因は、円高などによるものである。「総会・研究大会特別会計」については、今年度会場校の青山学院大学にご報告いただいた。なお、剰余金については一般会計に繰り入れることとした。

(2) 2005 年度事業計画（案）について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.33）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

従来事業計画として掲げていた「永年勤続者の表彰」については、永年勤続表彰制度検討委員会の検討事項としたこともあり、ここから除くこととした。また「国立情報学研究所との共同開催による目録システム地域講習会の実施」についても、同研究所との協力が同講習会のみにとどまらず幅広い展開となってきているため「ウ.他機関との連携・協力」の項の中に含めることとした。「イ.協会委員会活動の支援」および「オ.東西地区部会活動の援助」についても活動の中身がわかるように表現を工夫した。

(3) 国公立大学図書館協力委員会運営費分担金について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p.34～35）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

先般開催された同協力委員会臨時常任幹事会において、今後の事業展開を財政的に維持することを目的として、同協力委員会を構成する国立大学図書館協会、私立大学図書館協会に各 50 万円、公立大学協会図書館協議会に 25 万円の運営分担金を要請する運びとなった。同協力委員会の近年の活発な事業展開にかんがみ、本協会としても要請に対し積極的に対応することとしたい。

(4) 2005 年度一般会計予算および特別会計予算（案）について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p. 36～38）に基づき提案があり、了承された。提案の概要は以下のとおり。

一般会計「収入の部」では、加盟校数を 477 校として会費収入を見込んだ。一般会計「支出の部」の「運営費-1. 事務費」では、隔年で会長校名入封筒を作成しているため 10 万円の増額とした。「IFLA 負担金」については会費改定額を反映した。「事業費-2. 協会賞費」は申請件数に基づき仮に計上している。「事業費-7. 名簿刊行費」については従来隔年刊行としていた名簿について体裁を簡素なものにするなどの工夫を行った上で毎年刊行することを期して予算を計上した。「事業費-5. 部会交付金」は、加盟校数増に応じた予算を計上している。「研究助成特別会計」の「支出の部-研究助成金」では申請件数に基づき仮に計上している。「国際図書館協力基金特別会計」では例年どおりの予算とした。「総会・研究大会特別会計」については、次年度会場校の松山大学（藤本）より補足説明があった。

なお、出席役員校より、協会加盟館名簿については Web ページへの掲載で代用し以後冊子体を作成しないということも考慮に値する、との意見があり、今後の検討課題とした。

(5) 第 66 回（2005 年度）総会・研究大会について

次期総会・研究大会会場校松山大学（藤本）より、資料（p. 43～45）に基づき報告があり、了承された。

(6) 2005 年度永年勤続表彰者について

会長校早稲田大学（旭）より配付資料（p. 46）に基づき、推薦のあった 33 名を対象とする旨の提案があり、了承された。

(7) 2004 年度協会賞・2005 年度研究助成について

浪岡委員長（実践女子大学）より、配付資料（p. 19）を参考に下の提案があり、了承された。提案の内容は次のとおり。

2004 年度協会賞については 2 件の応募があり、審査の結果、この 2 件を委員会として推薦することとした。2005 年度研究助成については 1 件の応募があり、審査の結果、委員会として推薦しないこととした。

3. その他

(1) 「永年勤続表彰制度検討委員会答申」について

寺本委員長（龍谷大学）より、「永年勤続表彰制度検討委員会答申」を会長校に提出した旨の報告と概要の説明があった。なお、このなかで資料の文言に若干の修正が加えられ、役員校にたいし、後日、修正したものを送付することとした。

協議の結果、本答申を了承し、今後、4 月の常任幹事会、6 月の東地区・西地区の両部会総会での報告・意見聴取をすすめ、次回総会において最終的な方向性を確定することを確認した。

以 上